

シングルソースでテストから診断まで

AutomationDesk から CalDesk 診断機能のリモート制御

ASAM-MCD 3D (Version 2.0.1) に準拠

ODX ベースの診断

dSPACE のテスト管理ソフトウェア AutomationDesk の Version 1.4 には、診断と HIL (Hardware-in-the-Loop) テスト機能が付属しています。AutomationDesk を使用して、dSPACE の汎用的な計測および適合ソフトウェア CalDesk の診断機能をリモート制御および自動化できます。つまり、1つのソフトウェアからの HIL テスト、ECU 適合、計測タスク、および診断用の完全に統合されたツールチェーンを使用でき、やっかいな互換性の問題は過去のものとなりました。

診断と HIL テストの一体化

ECU ソフトウェアの HIL (Hardware-in-the-Loop) テストに ECU 診断を統合することは、ますます重要になっています。これは、まず、診断ソフトウェアは、ソフトウェア全体のクリティカルなコンポーネントで、ほかのすべてのアプリケーションソフトウェアと同じ品質保証手順を通過する必要があります。また、診断機能は HIL テストに役立ちます。たとえば、テストシナリオ内から ECU のフォールト

CalDesk による診断の新しいリモート制御

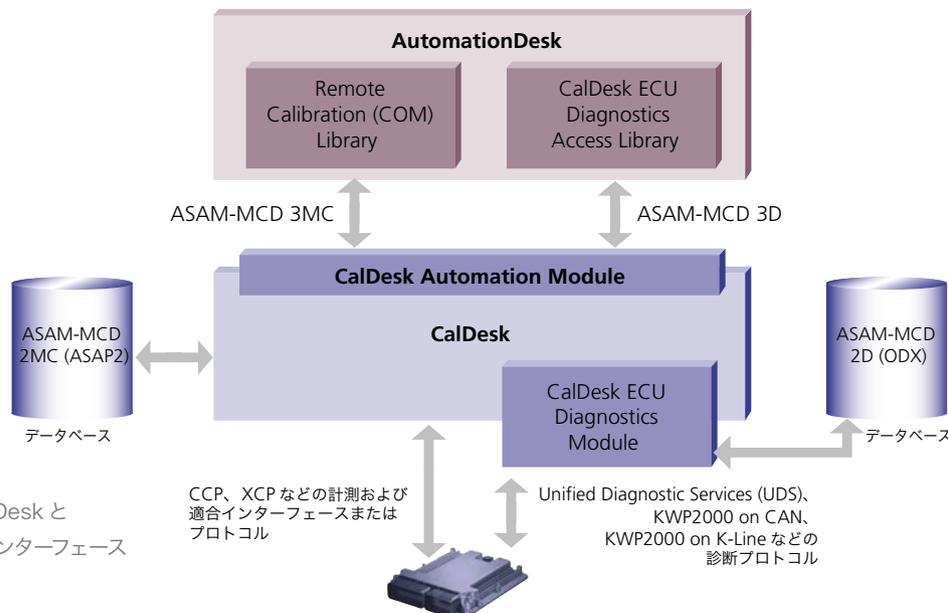
AutomationDesk 1.4 を使用すると、旧バージョンでも可能だった計測および適合タスクの自動化に加え、CalDesk の ODX ベースの診断機能の自動化およびリモート制御もできるようになりました。AutomationDesk 1.4 は、ASAM-MCD 3D 自動化インターフェース経由で CalDesk にアクセスできます。テストシーケンスは、新しい CalDesk ECU Diagnostics Access Library を使用し

て、AutomationDesk で慣れ親しんだ方法でグラフィカルに構築できます。CalDesk ECU Diagnostics Access Library は、CalDesk の診断機能へのアクセスを自動化するために必要なブロックの AutomationDesk ライブラリです。

1つのソフトウェアからすべてのツールを使用

CalDesk と AutomationDesk を使用すると、複数のベンダーのツールを統合する必要がある場合に実際によく起こる難しい互換性の問題を避けられます。dSPACE

は、HIL システムおよび計測、適合、および診断ツールを単独で提供するため、面倒な問題は起こりません。AutomationDesk と CalDesk のスムーズな相互作用が、HIL テストを成功させるための土台です。



AutomationDesk と CalDesk 間のインターフェース

メモリの読み取りと消去を自動化するために使用できます。AutomationDesk は、さまざまなソフトウェアツールに対応できる自動 HIL テスト向けの標準ソリューションです。AutomationDesk が対応するツールには、計測、適合および診断ツールである CalDesk、Softing 社製の DTS や EDIABAS などの診断ツール、および RAConsult 社製の VAG Tester や DiagRA などがあります。